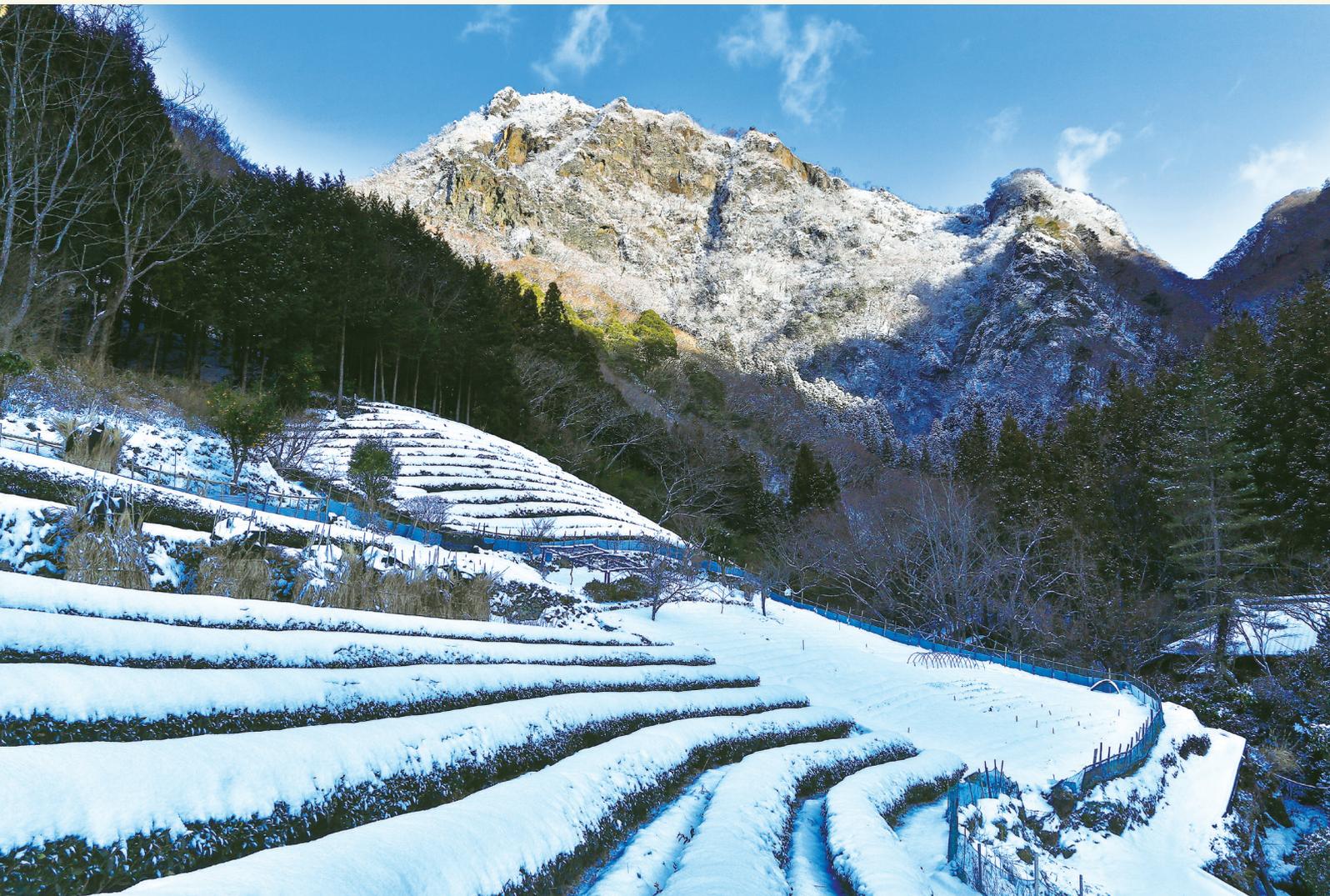


だいご 大子議会だより



シリーズ大子の風景② 「冷氣漂う雪化粧」 奥久慈大子フォトコンテスト作品から
(表紙の都合上、写真の一部を加工しております。)

目次

令和3年第4回定例会・	一般質問	8～17
令和3年第5回臨時会	わくわくわたしの夢・	
議員の活動報告します・議員研修視察	木になる新庁舎	18

令和3年第4回定例会

令和3年第4回定例会が、11月30日から12月9日までの10日間の会期で開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、令和2年第3回定例会から報道関係者以外の方の傍聴を取りやめていましたが、会期中は町内や県内での感染症状が落ち着いていたことから、一般傍聴席を12席として再開しました。



議事を進行する齋藤議長

一般質問は9名の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

今回提出された議案については、すべて全会一致で可決（同意を含む。）されました。

令和3年度一般会計補正予算

補正額 1億8246万8千円の増額

令和3年度大子町一般会計補正予算（第7号及び第8号）の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ117億4872万3千円となります。

また、国民健康保険事業特別会計1706万4千円の増額、介護サービス事業特別会計22万円の増額の補正がありました。

水道事業会計については、水道会計システムの次期システムへの移行に伴い、債務負担行為による予算措置（限度額3056万9千円）が講じられました。

一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	2465万7千円
地方交付税	3億3378万2千円
県支出金	577万9千円
繰越金	△2億8059万2千円
町債	1530万円

歳 出	補 正 額
子育て世帯への臨時特別給付金事業費	7931万5千円
交流拠点基本構想策定業務委託料	47万9千円
新型コロナウイルス感染症対応医療・福祉施設関係従事者支援金	575万円
林道パノラマライン法面改修工事請負費	2131万8千円
観光PRカード等作成業務委託料	47万1千円
大子町振興公社活動継続支援補助金	5137万円

大子町固定資産評価審査委員会委員に嘉成信夫氏を選任

大子町固定資産評価審査委員会委員の綿引章氏が令和3年12月25日で任期満了となるため、後任として嘉成信夫氏を選任することに同意しました。任期は令和6年12月24日までです。

第4回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第80号	令和3年度大子町一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第81号	大子町議会議員及び大子町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	原案可決
議案第82号	大子町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第83号	大子町保健師、助産師、看護師、准看護師及び歯科衛生士修学資金貸与条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第84号	大子町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第85号	茨城北農業共済事務組合の解散について	原案可決
議案第86号	茨城北農業共済事務組合の解散に伴う財産処分について	原案可決
議案第87号	新庁舎議場家具の取得について	原案可決
議案第88号	新庁舎文書庫棚の取得について	原案可決
議案第89号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
議案第90号	令和3年度大子町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第91号	令和3年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第92号	令和3年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第93号	令和3年度大子町水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決

「逐条審議」とは・・・



法律や条例などの箇条を一つひとつ取り上げて審議する方法とされています。大子町議会では、町長から提出された議案一つひとつについて審議しています。提出された条例や各事業について、主な質問を掲載しました。

逐条審議での主な質疑（一部を抜粋して掲載しています）

問 水道事業の設置等に関する条例改正により、給水人口が3万650人から1万6500人に変更となるが、水道料金の算定に影響はないのか？

答 影響しない。（水道課）

- 問** ドライブレコーダーは、今回の補正予算で全ての公用車に整備されることになるのか？
また、消防車両についてはどうか？
- 答** 取り付けできない車両を除きすべて完了する。消防車両は本部車両がすべて整備済、消防団車両は145台中8台が整備済、残りについては今後検討していく。(総務課・消防本部)
- 問** 旧ゲームセンター跡地に交流拠点を整備するにあたり、ワークショップはいつ頃開催する予定か？
- 答** 年度内に1回開催して基本構想を取りまとめたいと考えている。(まちづくり課)
- 問** 観光PRカードとは、どのようなものか？
- 答** QRコードから観光サイトに誘導するもので、目的地を選ぶと、行き方や施設情報などが表示される。(観光商工課)
- 問** 現在使用している机やイスなどの備品は新庁舎でも使用するのか？
- 答** 老朽化しているものが多く、2割程度の既存備品を使用する予定である。(総務課)
- 問** 新庁舎の総合管理業務は、どれくらいを予定しているか？
- 答** 機械設備の保守、警備や宿直業務などを予定しており、概算で6000万円と試算している。(総務課)
- 問** 林道パノラマライン法面改修の工期はいつ頃になる予定か？
- 答** 詳細はこれからだが、令和3年度中の完了は困難と考えている。(建設課)
- 問** 旧黒沢小学校の不用品処分の内訳は？
- 答** 遊具や掲示板、特殊教室の机や作業台、体育館にあるマットや長机などを予定している。(総務課)
- 問** バスツアーへ行こう応援事業補助金のツアー料金補助に対する詳細は？
- 答** 町民の皆さんに少ない負担で旅行を楽しんでもらうことを念頭に、1人あたりの補助上限を1万5千円に設定した。宿泊を伴う内容であっても、同等に補助することを考えている。なお、1万5千円未満のツアーへ参加した場合は、ツアー料金から3千円を差し引いた額を補助の上限とする。



令和3年第5回臨時会

令和3年第5回臨時会が10月15日に開催され、町長から提出された議案2件、議員から提出された議案1件について、全会一致で原案どおり可決されました。

そのほか、和解及び損害賠償の額の決定の専決処分の報告がありました。

第5回臨時会 提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第8号	和解及び損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告済
議案第78号	令和3年度大子町一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第79号	令和3年度大子町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議員提出議案 第5号	議員の派遣について	原案可決

議員の活動報告します！

11月、12月、1月は主に次のような議員活動を行いました。

令和3年 11月

- ・議会だより第207号発行〔広報委員会〕
- ・森林湖沼環境税の継続を求める県要望〔議長〕
- ・定例全員協議会〔全議員〕
- ・総務経済委員会町内視察（袋田地域防災センターほか）
- ・文教厚生委員会町内視察（大子幼稚園ほか）
- ・議員研修視察（宮城県気仙沼市ほか）〔全議員〕
- ・大子町国保運営協議会〔委員5名〕
- ・国道461号整備事業促進に関する県要望〔議長〕
- ・町村議会議長全国大会（明治記念館）〔議長〕
- ・令和3年成人のつどい〔議長〕

12月

- ・第4回定例会〔11月30日～12月9日〕
- ・議会運営委員会
- ・広報委員会
- ・総務経済委員会町内視察（おやき学校ほか）

令和4年 1月

- ・令和4年成人のつどい〔議長〕
- ・消防出初め式〔議長〕
- ・定例全員協議会〔全議員〕
- ・大子町新春の集い〔全議員〕



ピックアップ

○大子町成人のつどい

令和3年11月27日に「令和3年大子町成人のつどい」が、文化福社会館まいんで開催され、103名の方が出席されました。例年1月に行われていた成人のつどいですが、令和3年は新型コロナウイルス感染症の影響により10ヶ月遅れての開催となりました。

また、令和4年1月9日には「令和4年大子町成人のつどい」が行われ121名の方が出席されました。

式典には、齋藤議長が大子町議会を代表して出席し、「若い力と行動力、そして人を思いやる心を大切に、自然豊かで心の温もりが感じられるこの町に生まれた事に誇りをもって、日々、成長を続けますようご期待申し上げます」とエールを送りました。



成人式の企画や運営をおこなった実行委員（左が令和3年、右が令和4年）の皆さん

議員研修視察の概要

11月18日・19日に宮城県気仙沼市及び岩手県陸前高田市に於いて議員研修視察を実施しました。今回の研修のテーマは「災害時における議会对応」及び「防災」に関する研修ということで、議員13名、担当課職員1名、事務局職員2名が参加しました。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により甚大な被害に見舞われた気仙沼市では、「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」を訪れ、気仙沼市議会の菅原議長や伝承館の佐藤館長に当時の話を伺うことができました。

同じく陸前高田市では、震災の追悼と鎮魂、復興を国内外に向けて明確に示す目的に施設整備された「道の駅高田松原」を訪れ、藤澤副館長の説明により施設内見学を行いました。

気仙沼市における東日本大震災からの復興取組の概要

◎被災状況

- ・震度：震度6
- ・死者：1,432人（うち行方不明者214人）
- ・住宅被災棟数：15,815棟
- ・被災世帯9,500世帯

◎復興取組

- ・被害の大きさと防災の課題を教訓に気仙沼向洋高校校舎を遺構として伝承

◎気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

この建物は、津波で4階まで被災した気仙沼向洋高校旧校舎を震災遺構として当時のまま残しており、隣接した震災伝承館では、地震・津波の映像の上映や写真を展示している。

将来にわたり震災の記録と教訓を伝え、警鐘を鳴らし続ける「目に見える証」として活用し、気仙沼市が目指す「津波死ゼロのまちづくり」に寄与することを目的としている。



◆津波により運ばれてきた車

震災前、この場所は「電気磁気室」として使用されていた教室です。（3階）

写真の被災車両は、震災当時、気仙沼市内にあるあるオートショップが所有していました。同社に板金塗装を依頼した南三陸町の方に、台車として貸し出されていたものですが、津波によって、地上から高さ8メートルのこの場所まで流れつきました。



◆冷凍工場の激突跡

津波で流されてきた冷凍工場が、この南校舎に向かって迫ってきました。何とか正面激突は免れたものの、4階ベランダに激突し壁面は破損、激突方向に折れ曲がった状態となりました。

※写真左上の部分が、破損した部分です。

研修後記

昨年11月中旬、太子町議会議員による研修視察を、東日本大震災により甚大な被害を受けた気仙沼市で行った。同市議会議長、震災

遺構・伝承館長より調査事項の説明をうけ、当時の誰もが予期せぬ出来事に対して議会として早急に対応せねばならないこととは何かを考えさせられた。

人命救助、避難所開設、救済物資の配布など様々な山積みにあることだが、次の段階である災害復旧を行う上での議会体制の大切さをあらためて感じた。

議員は町民にとつて身近な存在である。情報収集を行いながら行政の窓口になり、要望など相談に応じていくことで被災者の不安を取り除き、被害説明など今後の対応の確認を行う役割でもある。

開き、特別委員会を設置し、災害復旧にかかわる予算などの専決処分の承認が必要であると思われる。

この研修視察で得たこととは、議会として災害活動体制の充実を図るため町災害対策本部と連携し、議員自らの適切な対応が求められると実感した。

(飯村 剛)

い、一晩で当たり前の事が当たり前でなくなる事を経験しましたが、視察で見た現実は愕然とするほどの被害の大きさでした。災害への対応、復興への道のりでの苦労は非常に大きなものであっただろうと推察でき言葉が出ませんでした。

平成23年の東日本大震災で被災した気仙沼市議会、そして、その被害の大きさと防災の課題や教訓を気仙沼向洋高校校舎を遺構として伝承している、東日本大震災遺構・伝承館を訪れた。改めて太子町に活かすために、気仙沼市議会や、伝承館及び復興した街並みを視察し震災から10年の復興の取組を研修した。

東日本大震災遺構・伝承館での館長さんのお話では、当時の連絡手段が防災無線とツイッターだけであつて、停電する中で充電方法が問題であつた事、植栽の植物の種類や建物のちよつとした向き、盾になってくれるものの存在で被害状況に違いが出たことなどが印象に残りました。

議会の災害対策としては、議会版災害対応マニュアルを作成し、災害発生時に真に機能するよう常に検証と見直しを進める。また議会独自の訓練が必要である。

今後、今回学んだことを活かし、太子町議会災害対応マニュアルを見直したり、色々な連絡手段の確保、様々な状況の災害を想定した訓練を行ったりする必要があると感じました。

(福田祥江)

特に感じたのは、どんなに防災訓練をしていても発生した規模を正確にそして早く伝えることができるか、避難する人たちや、避難指示に對しての判断に大きなずれが生じ、そのずれが大きな悲しみを生むという事。

常日頃より、状況の変化を判断して想定以上の

行動に移れる避難訓練を実施する必要がある。また災害後の復旧に向けた体制、その中で想定される24時間体制に向けた指揮担当者の複数化と指揮権の付与の明確化、そして避難所運営は、地域住民で行える訓練を行う事の重要性を強く学んだ。

(川井正人)



令和3年第4回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

9人の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
消防庁舎建設基金設置等の検討を安心して暮らせる体制づくりの状況は	P. 9	藤田 稔 議員
イベント再開に向けて町の支援は 少子化対策は ガバメントクラウドファンディングの活用は	P.10	川井 正人 議員
首都機能分散を提言しては 主な企業連携の状況について 大子町の農業の将来像について	P.11	金澤 真人 議員
子宮頸がんワクチンの再開は	P.12	野内 健一 議員
新たなおやしき学校の運営展開は 観光誘客に繋がるドックラン等の整備を 工事を進める上で今後も町民への説明を	P.13	飯村 剛 議員
松沼橋架け替え工事の住民説明は 国道461号のかさ上げによる町内への影響は 町道、農道、林道の管理状況は	P.14	菊池 富也 議員
道の駅に移住相談窓口の設置を 災害時の諸対応の準備体制について 自転車オフロードコース整備で来客増を	P.15	大森 勝夫 議員
子ども達が安心して集える場所を フィットネスジムの創設を	P.16	福田 祥江 議員
町の借金、今後の見通しは 愛宕町通り拡幅工事、町の対応は FMだいで8年経過、サービス十分か	P.17	菊池 靖一 議員

一般質問とは・・・



定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をたずねます。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

インターネットで映像配信中

町議会では、インターネットによる議会中継を配信しています。定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見ることができますので、大子町議会の様子を是非映像でご覧ください。

※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから





新庁舎の建設と基金設置の検討を

問 消防庁舎建設基金設置等の検討を

答 検討委員会を組織し協議する



藤田 稔 議員

【藤田】各避難所、小・中学校や保育所・幼稚園等への非常食の備蓄状況を伺う。

【総務課長】町内基幹避難所12か所に3日間生活

できる程度備蓄している。また、近くのコミュニティセンターの防災倉庫の活用ができる。保育所には、一定の非常食を備蓄している。

【藤田】避難所等への配送を考えると、各学校等への備蓄が大事ではないか。

【総務課長】保管・管理状況等の検討をしたい。

【藤田】新型コロナウイルス又感染症対策を伺う。

【総務課長】予防用品等は十分な量を確保している。

【藤田】障がい者や高齢者はレベル3から避難をする。冷熱遮断アルミシートと毛布一枚で宿泊できるのか。

【総務課長】エアーマットを購入する。年次的に計画して購入していきたい。

【藤田】消防庁舎の建設に

備え、基金の設置や代替え地の検討はされているのか。

【消防長】検討委員会を組織し、協議していきたい。

【藤田】個別施設計画では、4億100万円の予算で令和5年から計画がされているが。

【財政課長】令和4年第1回定例会までに条例制定の議案の提出を準備している。

安心して暮らせる体制づくりの状況は

【藤田】高齢者や障がい者生活困窮者等すべての要支援者が安心して暮らせる体制づくりをするための施策立案を目指す地域包括ケアシステムネットワーク事業の現状を伺う。

【福祉課長】庁内連携を図るため庁内プロジェクトチームを結成した。内閣府と経済産業省が提供するREASASのサービスを活用し、町の現状を多角的に捉える研修を3回実施した。さらに議論を深め、町が目指す方向性の検討をして行く。

ている。

【藤田】ヤングケアラ―(※)の把握はされているか。

【藤田】災害復旧事業費と通常の建設費を比較するとどれ位の金額になるのか。

【福祉課長】把握はしていない。県の条例制定が進められている。連携して行きたい。

【生活環境課長】以前の施設の撤去、地盤改良、本体工事に移りプラントの試運転を終えて順調にいけば、令和5年8月末日を予定している。

※ヤングケアラ―とは、学校などに通いながら障がい、病気のある親の介護や年下の兄弟などの世話をしている18歳未満の子どものことをいう。

【藤田】新たな少子化対策にどの様に取り組んで行く考えか町長に伺う。

【藤田】町のし尿処理センターの運営業務委託等を含めた経費等を伺う。

【町長】子育て世代に関しては、以前から拡充している。地域社会の中で近隣市町村とこれから競争、色々な形で大子町をアピールしていく中では、子育てというのはその選択肢の一つとして大きな柱になっている。大子町の素晴らしい資源を色々な形で組み立てたくさんの柱をつくり町の発展につなげていきたい。

【生活環境課長】常陸大宮市、常陸太田市、東海村へ搬出している。合計で1億1022万5549円である。比較は難しいが、処理し尿は搬出の方が安くなっ

ている。

【藤田】今後の工事工程について伺う。

【生活環境課長】以前の施設の撤去、地盤改良、本体工事に移りプラントの試運転を終えて順調にいけば、令和5年8月末日を予定している。

【藤田】新たな少子化対策にどの様に取り組んで行く考えか町長に伺う。

【町長】子育て世代に関しては、以前から拡充している。地域社会の中で近隣市町村とこれから競争、色々な形で大子町をアピールしていく中では、子育てというのはその選択肢の一つとして大きな柱になっている。大子町の素晴らしい資源を色々な形で組み立てたくさんの柱をつくり町の発展につなげていきたい。

問 イベント再開に向けて町の支援は

【答】例年と同様に予算措置をしていく



川井正人 議員

様に予算措置をしていく考え。なお、開催の折は十分な感染症対策を要請する。

【川井】体験型ツーリズムを考慮した新たな観光資源の開発や既存の観光資源の再構築に関し町の考えは。

【川井】2019年に開催された花火大会と灯笼流し、常陸国YOSAKOI祭り、百段階段でひな祭り、丘の上のマルシェ、大子ふるさと博覧会、奥久慈大子まつりの6イベントの集客数は約18万人、同年度の袋田の滝の観光客が約42万人である事と比較してもこれらのイベントは有力な観光資源であり経済効果も絶大である。コロナ収束後の再開に向けて町の支援が必要と思うが。

【観光商工課長】例年と同様に予算措置をしていく考え。なお、開催の折は十分な感染症対策を要請する。

【観光商工課長】インバウンド観光客の増加を見据えサイクルツーリズム、田舎体験、歴史体験、県北ロングトレイル等を組み合わせて長期滞在してもらうツアー商品の造成、多言語環境の整備、受け入れ態勢の構築を図る。既存の資源の再構築は「全方位アウトドア、自然基地大子町」のキャッチコピーのもと、大子町イコールアウトドアのイメージ定着に向けブランディング展開のなかで再構築を図る。

【川井】紅葉、桜等の花木

行っている。

ガバメントクラウドファンディングの活用は

【川井】ふるさと納税の寄附金の使い道を具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募るガバメントクラウドファンディングを活用する考えは。

- 成功事例を2例紹介する。
- ①「かみね動物園の猛獣舎整備プロジェクト」、寄附目標6千万円に対し寄附総額1億739万9500円。
 - ②「平和通り桜並木を未来の子供たちにプロジェクト」寄附目標額400万円に対し寄附総額2503万4千円。

【財政課長】来年度当初からの活用を考えている。現在ガバメントクラウドファンディングの対象事業の選定を行っており、候補として袋田

少子化対策は

【川井】少子化対策として未婚者に対する婚活支援が非常に有効と思うが。

【まちづくり課長】未婚化、晩婚化の解消を図るため総合計画に基づき婚活パーティーの支援、大子町婚活支援ネットワークの運営や経済的理由で結婚に踏み出せない方を対象とした結婚新生活応援補助金の交付等を行

【川井】紅葉、桜等の花木をを活かした大規模な景観、風景の整備、マウンテンバイク、ジップライン、アスレチック等のアドベンチャーワールド的施設の整備、袋田の滝のトンネル内のイルミネーションの通年化、奥久慈パノラマラインの整備等も視野に入れた観光振興対策も進めて頂きたい。

【川井】日立市の



常陸国YOSAKOI祭り袋田会場



つつじが丘からの展望

問 首都機能分散を提言しては

答 要望活動などあれば同調する



金澤眞人 議員

題になっていった。今のところ、移転や分散の流れはないが、要望活動があれば同調する。

【金澤】 サテライトオフィスやリモートワークの会社が、大子に進出しても、通信環境は問題ないのか。

【まちづくり課長】 次世代の通信規格に対応するルーター等を変えれば問題ない。

主な企業連携の状況について

【金澤】 (株) さとゆめとの連携事業の状況と今後の見通しは。

【まちづくり課長】 地域資源の活用、関係・交流人口創出、テレワーク・ワーケーション事業など連携して事業推進している。今後旧

吉成邸を活用した事業等もブラッシュアップしていく。

【金澤】 アグリマス(株)との連携協定の状況と今後の予定は。

【福祉課長】 町民の健康寿命延伸を図り、将来の社会保障費の抑制を図るために様々な知見やノウハウを有するアグリマスと健康づくり事業に一緒に取り組む。

【金澤】 ナムチェバザール、モンベル、JR東日本水戸支社等とも、アウトドア関連の事業展開を図っている様だが、内容を伺う。

【観光商工課長補佐】 ナムチェバザールとは、県北口ングトレイル事業で町内コースの整備を連携している。モンベルとは、キャンプやアウトドアフィールドなど野外活動を通じて、防

災力やアウトドア能力の向上を図るほか、町内のコースを使った登山講座などでも連携していく。

【まちづくり課長】 JR東日本水戸支社とは、大子町の豊かな自然環境を活かして、大子町イコルアウトドアのイメージを定着させるプロモーション展開を図る。



道の駅にあるレンタサイクル

大子町の農業の将来像について

【金澤】 遊休農地や荒廃農地が増えていく状況だと思いが、対策は。

【農林課長】 遊休農地への花の苗、花木、漆や椿などの特用林産物の苗などの植栽には補助を実施し、認定農業者や新規就農者へ農地の集積を進めている。

【農業委員会事務局長】 農地として復旧が困難な場合においては、申請により非農地化する場合もあり、年々増加傾向にある。

【金澤】 大子町の農業の目指す方向は。

【農林課長】 小生瀬地区で約30ヘクタールの土地改良事業を推進しており、将来の農地集積のモデルケースになると期待している。

【金澤】 様々な企業と連携協定を結んでいるが、企業からの農地利用の提案などはないのか。

【農業委員会事務局長】 3社の企業から遊休農地の貸借希望が出ており、検討中だが、順調にいけば、遊休農地対策の一翼を担っていくられるものと期待している。



さまざまな活用が期待される古民家

問 子宮頸がんワクチンの再開は 再度安全性を分析後に判断する



野内健一 議員

6年生から高校1年相当の女子を対象に国の定期接種となったが、接種後に多様な症状や副作用が生じたとする報告によって、国は同年の6月に自治体による積極的勧奨の差し控えを行い、接種は大幅に減少した。

【野内】 ワクチン接種で予防可能な病気の一つに、子宮頸がんがある。ヒトパピローマウイルスの感染が原因のがんで、年間約1万人もの女性がかかり、約3千人の方が亡くなっている。そしてこの予防のために世界で広く行われているのが、HPVワクチンの接種である。

HPVワクチンは、日本でも平成22年11月より国の基金事業対象ワクチンとなり、接種が進んだ。その後、平成25年4月より、小学校

当たり5人となっている。ただし、この報告は、因果関係があるかどうか分からない症状、それから接種後に短期間で回復した症例も含めているとされている。

【野内】 ワクチン接種の再開に向けて、国からの連絡は何かされているか。

【健康増進課長】 来年度に向けては、国のほうでも、必要性とか有効性、そういう副反応の状況と安全性なども示したリーフレットなどを作成して、周知に努めるということを聞いている。

【野内】 このワクチン接種は、他の自治体に比べて大子町は大変早くスタートした自治体だが、町長はどう考えるか。

【町長】 HPVウイルスの件であるが、一度、一回止まったものがまた再度動き出すという中においては、やはり再度安全性をしっかりと分析をし、そしてその安全性を対象者に説明した上で、判断をいただくということに変わりはないということである。ただ、拙速性ばかりが早く行き過ぎて、住民にまず負担がないようにすることが自治体の役目だと思っている。

【野内】 勧奨中止期間にワクチンを持たなかった女性への無償接種を進める必要があると思うか。

【健康増進課長】 積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した方への対応については、国の予防接種・ワクチン分科会において、公費による接種機会の提供等

に向けて対象者や期間等についての議論を開始したとされており、今後方針が決定次第、速やかに周知するとされている。国の示す方針に従い、町も早急に対応していく。



HPV ワクチン接種の再活動拠点となる保健センター

問 新たなおやき学校の運営展開は

答 一部製造を機械化し販路拡大図る



飯村 剛 議員

【飯村】10月1日より大子おやき学校は一般社団法人大子町振興公社が管理を引き継いでいくことになった。今後の運営の取り組みについては。

【観光商工課長補佐】既存の委託販売店、学校給食会他、各振興公社施設を含め新たな販路拡大を行っている。現在、受注が好調であり製造強化を行う上で雇用の確保をしつつ、一部製造工程の機械化を考えている。また、食堂スペースでは木

造校舎の雰囲気にあったメニューを試作中、カフェやレストランの営業再開を検討。町民の期待に沿えるよう施設運営を行っていく。

【飯村】地域の皆さんの協力があり運営を行うことができる。連携を今後どのようにとっていくのか。

【観光商工課長補佐】おやきの郷組合の皆さんにより、環境美化活動に協力を頂いている。地域行事などの活動についても、地元、公社、町とで良好な関係を築いて行きたい。

【飯村】校庭活用の取り組みについての計画は。

【観光商工課長補佐】おやきの郷大感謝祭他、今後はミニマルシェや星空観察会等の開催、ソロキャンパー向けにテナントの貸し出しなどの構想をしている。

観光誘客に繋がるドックラン等の整備を

【飯村】現在全国的にアウトドア的なペット同伴旅行の需要が強まっている。新たな観光需要に応えるものとしてペットツーリズムの推進事業に取り組んでいる自治体もあるが、校庭をドックランに活用できないか。

【観光商工課長補佐】認識している。ドックランの開設については地元の皆さんの意向を踏まえて検討する。

【飯村】観光客が場所感をつかめるように案内板の増設を行っていくと聞いているが、今後の大子町への新たな顧客をどのようにつかんでいくのか。

【観光商工課長補佐】サイクリストなどこれまでと異なった顧客層にニーズがある可能性を感じる。立ち寄り場所など動向に目を向け、他施設と連携して獲得への取り組みを検討する。

工事を進める上で今後も町民への説明を

【飯村】久慈川緊急治水対策プロジェクトは大子地区間10工区ある。地域の方々への説明等については。

【建設課長】該当する区長への説明を今年3月から行い、地域の周知は回覧により行っている。

【飯村】北田気、大子地区においては既に工事が進められているが、他の地区はいつ頃からなのか。

【建設課長】用地買収や補償の交渉を

行い用地の確保ができた箇所から工事発注を行っている。

【飯村】中央、宮川の両グラウンドの土砂についての活用は。また、いつ頃まで使用していくのか。

【建設課長】河道掘削などで発生した土砂は堤防整備工事等に有効活用する。グラウンド使用については令和6年度まで要望を受けており、町としても協力をして行く。



今後は機械化により販路拡大が期待される「おやき学校」

問 松沼橋架け替え工事の住民説明は

答 新設される橋の情報は順次公開



菊池富也 議員

ることは、利用者に不便をきたすのではないかと。

【建設課長】旧橋と新橋の橋脚が乱立することで久慈川の流れを阻害するからこのような計画になった。

【菊池】旧橋を壊す前に地権者の承諾が必要ではないのか。

【建設課長】確かにまだ用地の取得には至っていない。

【菊池】地権者の承諾が得られない場合の町の対処方は。

【建設課長】地権者に丁寧な説明をし、協力を得たい。承諾を得られない状況は想定していない。

【菊池】高齢者、小中学生などの弱者のためにも利便性が優先されるべきではないのか。

【町長】利便性も大切だが、

町内に川の水が越水したことの懸念が第一である。どのような工事でも完了するまでは不便をかけるが、地域の協力により進めたい。

【菊池】小中学生の通学路の安全確保が優先されるべきではないのか。

【町長】新橋の建設と子供たちの安全確保を同時に進めたい。

【菊池】小中学生などへの安全対策や新橋建設の進め方などを町民全体に説明するよう求める。次に、役場新庁舎の本体工事の進捗状況は。

【総務課長】早期の完成を目標としている。予定通りに進んでいる。

国道461号のかさ上げによる町内への影響は

【菊池】久慈川緊急治水対

策プロジェクトの中に国道461号のかさ上げが計画されている。その場合、泉町の一部は国道より低い位置になるのではないかと。その対応は。

【建設課長】区域内にある排水施設の能力強化、水路の改修を予定している。

【町長】内水の処理も大事だが、河川の越水をしつかり止めることが必要である。

町道、農道、林道の管理状況は

【菊池】最近、町道における事故が多発しているが、町の対策は。

【建設課長】安全性の優先順位をよく精査し、必要性に応じて対応する。

【菊池】安全性を考慮するなら、事故が起きた場所が最優先では。

【建設課長】必要性があれば考える。早期に危険箇所を把握する。

【菊池】町道は、子どもたちの通学路、高齢者等の散

歩道でもある。早めの対応が必要である。また、通学路の対応はどのようになっているのか。

【教育委員会事務局長】通学路については、大子町通学路交通安全対策会議において、危険個所の把握、合同点検の実施、安全対策の検討等を実施している。また、下校時の見守り体制として、子どもを守る110番の家を町内459か所設置して対応している。

【菊池】通学路の夏場の除草は。

【教育委員会事務局長】子供たちの通行に影響がある場合は、関係機関と連携を取り、対策を講じるようにしている。



取り壊される松沼橋

問 道の駅に移住相談窓口の設置を

答 パンフレット配置から段階的に



大森勝夫 議員



移譲の対応に問題はない。

【大森】気仙沼市で避難所となった中学校で、在校生徒が避難所の運営ボランティアとして活躍した。避難者が避難所の運営をしていくと、行政は物資供給など効率よく支援ができる。普段から避難時の自立意識を周知していた効果だという。参考にするべき事例と考えるが、応用できないか。

【総務課長】自主防災会にて毎年研修を開催し、自助・公助の意識の啓発に取り組んでいる。また、防災士を養成する事業も新たに開始した。

【大森】避難生活が長引くと、日常生活の現金が必要になり、家財消失者だと困窮する。気仙沼市では金融機関が柔軟に融資に対応してくれた。対応策の検討は。

【総務課長】大子町内の金融機関に確認したところ、災害協定は無い状況だが、同様の対応は可能との回答を得ている。

自転車オフロードコース整備で来客増を

【大森】大子町の魅力とアウトドアを結び付けるタウンプロモーション事業が始まった。最近はやいクリストをよく見かける。砂利道を走るオフロードのコースがあれば、さらに注目を集めるのではないかと。

【観光商工課長】町有地の有効活用と森林環境整備の観点からも、自転車オフロードコースの整備を、場所も含め構想を開始している。



道の駅ましこにある移住サポートセンター

【大森】道の駅に移住相談窓口があれば気軽に相談でき、移住を想定していなかった観光客にも、移住を考えるきっかけづくりになる。土地や空き家の情報だけでなく、農繁期や観光繁忙期の人材募集など、収入源の情報を提供すれば、移住して自営・独立を考える方の副収入の手段となり、移住によるリスク軽減となり現実味が増す。検討できないか。

【まちづくり課長】役場窓口に来庁するより、道の

駅に窓口があれば、移住や二地域居住に興味のある方は気軽に相談できる。しかし、窓口設置にはスペース確保や設備施工などの課題がある。まず道の駅を含めた不特定多数の来場者のある場所にパンフレットを配置して情報提供をするなど、段階的に方法を探っていくたい。移住後の収入源の情報提供も、農家の方には繁忙期の人手不足の解消になり、需要と供給のバランスが図れる手法と認識している。

災害時の諸対応の準備体制について

【大森】気仙沼市を視察し、津波災害時の反省として、

連絡手段が無くなった際の命令権限の難しさを聞いた。災害対策本部長である首長の指示が届かない現場では、現場トップが判断して災害対応の指示を出さざるを得ない。非常時の困難な作業指示は、首長命令ではないと部下に拒否される事態も起こりえる。孤立した現場で、そのトップが権限を持つことを明文化して周知しておくことが大切と聞いた。大子町での対応状況は。

【総務課長】地方自治法に職務権限の代替の規定がある。町の事務決裁規程に代表権者の代決の定めがあり、地域防災計画でも職務代理者の規定がある。災害対策本部組織は町の規定が適用されるので、新たな条例等の整備がなくても権限

問 子ども達が安心して集える場所を 答 官民連携事業などで研究していく



福田祥江 議員

児童クラブの利用状況について伺う。

【教育委員会事務局長】 放課後子ども教室は各小学校6か所を合計すると利用登録者数は261名で51・8%の児童が利用登録をしている状況である。特別支援学校については現在、利用登録者はいない。

【福祉課長】 放課後児童クラブの利用者は通年実施の2か所、長期休業時に実施の2か所の合計で146名である。令和3年度は希望者全員が利用可能という状況であった。

【福田】 休日などに児童生徒が道の駅やコンビニエンスストアに集まっている様子を見かけることがある。平日や土曜日には、小学生には放課後子ども教室や放課後児童クラブがあるが、町内には児童館や気楽に集まれる交流拠点になるような施設はない。勉強するにしても遊ぶにしても、子ども達が安心して過ごせる場所があるということは子育て世代の方々にとって大きな意義があると思う。まず放課後子ども教室と放課後

【福田】 次に休日に子ども達が集えたり、中高生が友人同士で相互に教え合ったり学習できたり、多世代の交流拠点となるような施設をまちなかビジョンの中で検討できないか伺う。

【まちづくり課長】 子ども達が集え、多世代の交流拠点となる施設があれば、関係人口の創出やまちなかにぎわいづくりにもつながると考える。役場の跡地の利活用と合わせ、今後研究していく課題として取り上



まちなかの賑わいや子供たちの居場所づくりに有効利用が期待される

げていきたい。

フィットネスジムの創設を

【福田】 近年の健康意識の高まりもあり、フィットネスジムが欲しいとの声がある。当町では介護者不足の懸念もあり、高齢者の健康寿命の延伸も課題となる。様々な年代の健康維持のため、フィットネスジムを開設できないか。

【観光商工課長】 トレーニング実施施設の設置については、入浴やサウナと親和性が高いと考えられるため、町の温泉入浴施設に設置することで町民の健康づくりに寄与するとともに、施設の利用促進と施設充実による魅力度向上の観点からも前向きに準備を進めているところである。

【福田】 厚生労働省の調査によると、介護になった主な原因は認知症が17・6%、高齢による衰弱が12・8%、転倒骨折が12・5%であり、合計42・9%にのぼっている。



継続して運動できる施設を

る。これらは運動で予防できるものである。高齢者の健康維持のための運動について、アグリマス株式会社との連携ができないか伺う。

【福祉課長】 アグリマス株式会社との連携事業の大きな目的は、社会保障費の抑制や町民の健康寿命延伸を図るための健康づくり事業の展開にあるため、町内にフィットネスジムが創設された場合には、そこを利用しながら測定会や太極拳レッスンも開催が可能であると考えられる。

【福田】 現在も様々な介護予防事業が行われているが、効果を検証しながら、様々な可能性を考えていただきたい。

問 町の借金、今後の見通しは

答 今がピークでこのまま推移する



菊池靖一 議員

【財政課長】 経常経費は若干増えているが、これに対する国の経済対策が大幅に超えているので下がる傾向にある。翌年度は87・1%と試算している。

【菊池】 経常経費の中の人件費は、他の類似団体に比べて高いが要因は何か。

【財政課長】 町は、消防や環境あるいは衛生センターについて直営で行っているため人員確保をしている関係上、致し方ないと考えている。

【財政課長】 5年後の中期財政収支見通しを毎年立てているが、今がピークでこのままの水準で推移している。

【菊池】 ここ数年1%位ずつ上がってきている経常収支比率(※)は、現在89・8%だが今後の見通しは。

【財政課長】 ランニングコストは、毎年支払わなければならないが考えは。

【財政課長】 ランニングコストは、毎年支払わなければならないが考えは。

ばならない経常経費なので十分に精査し、より適正な価格執行で実施していく。

*経常収支比率・・・家計に例えると毎月の収入に対し光熱水費や食費・ローンなど、必ず必要になる経費の割合。これが高くなると自由に使えるお金が少なくなり財政に余裕がなくなる。

愛宕町通り拡幅 工事、町の対応 は

【菊池】 愛宕町通りの拡幅工事については、年度内に住民説明会が行われると聞いている。町も要望してきた事業なので、事業が円滑に進むために果たす町の役割は重要と考える。県と住民との橋渡し役として考え

ていることは。

【建設課長】 住民への情報提供や周知、工務所との交渉等にも積極的な協力し、丁寧な説明に心がけ、ご理解とご協力をいただけるよう工務所とともに努める。

【町長】 担当課の方には、町のできる範囲で住民に寄り添って、不安を取り除くようにと指示をしている。

FMだいで8年 経過、サービス 十分か

【菊池】 FMだいで8年経過、サービス十分か。FMだいで、災害やコロナ対策さらには町の様々な情報手段として重要な役割を担ってきているが、開局8年を迎え、聞き取りづらい世帯やラジオの不具合など、全町民が緊急告知ラジオとしての役割が果たせているか心配をしている。町

の考えは。

【総務課長】 聴取率とか満足度は数値では把握できていないので検討を進める。東日本台風後、屋外アンテナの給付が伸びているので町民には十分行き届いていると感じている。ラジオの不具合や故障があった場合は、交換に応じている。



幅員が狭い愛宕町通り

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



大子西中学校3年
菊池心悟さん

私の将来の夢は、土木技術者になることです。この職業は、現場工事の作業計画を立て、建設技能を生かして管理作業を進めることなどが仕事です。

この職業を選んだきっかけは、私の父がこの職業に就いていて、何度も現場を直接見ることで、働く姿にすごいと感じました。

心させられたからです。建物や道路を造り、一生懸命働いている姿を見て心が惹かれました。父と仕事の話を話す中で、「形に残る仕事でやりがいがある」という言葉を聞き、私も「人の役に立つ仕事をしたい、人のために行動できる人になりたい」と考えるようになりました。

この職業に就くためにはたくさん資格が必要なので、今は数学を中心に、一生懸命取り組んでいます。



「純木造」の新庁舎建設が始まって約10ヶ月が過ぎました。第4回定例会でも備品等の契約に関する議案が可決され、本年4月末の完成に向け着々と準備が進められています。

今回の木になる新庁舎の気になる進捗よく状況は令和4年1月20日時点の写真です。



FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等はFM放

送等でお知らせします。



3月定例会開催予定

- ▽2日(水) 開 会
- ▽3日(木) 〃 6日(日) 自宅審議
- ▽7日(月) 一般質問
- ▽8日(火) 一般質問
- ▽9日(水) 一般質問
- ▽10日(木) 〃
- ▽11日(金) 予算・決算委員会
- ▽12日(土) 〃 13日(日) 自宅審議
- ▽14日(月) 逐条審議 閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会広報委員会

- 委員長 須藤 明
- 副委員長 福田 祥江
- 委員 飯村 正剛
- 委員 川井 忠人
- 委員 齋藤 一人
- 委員 金澤 眞人

あとがき

新年あけましておめでとうございます。数年に一度クラスの強い寒波により、各地で雪の被害や路面凍結によるスリップ事故が多発しています。また、感染拡大が懸念される冬場に入り、新たな変異株「オミクロン株」が見つかりました。世界的な厳戒ムードが緊迫感を高めています。症状はどの程度か、ワクチンや治療薬の効果は低下しないか。落ち着かない日々が続いております。今年の干支は「壬寅(みずのえとら)」です。壬寅は「陽気をはらみ、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力にあふれ、華々しく生まれる年になると言われています。皆さんが健康で幸せな一年でありますよう心からご祈念申し上げます。(須藤 明)